

多面的機能支払交付金制度を活用した取り組み ～子どもたちに、生きる力を～

三重県 多気町勢和地域資源保全・活用協議会



- 平成19年度 農地・水保全管理支払交付金制度から活動
- 旧勢和村（学校区10集落）を1つの大きい集落と考え広域で取り組む



対象農用地 田んぼ317ha 畑59ha
平成28年度交付金 21,789千円/年



遊休農地を活用した学校教育との連携
大豆づくり

おまめさんかなあプロジェクト

おまめさんかなあプロジェクト とは・・・

- ・ 遊休農地を活用した農作業体験（さつまいも・米・大豆）
- ・ 学校教育との連携
- ・ 公共図書館との連携

枝豆の収穫・試食

きなこづくり（石うす体験）

豆腐づくり、味噌づくり

大豆や伝統食についての学習

・・・（46人中37人が女性）

具体的な内容はDVDで紹介します！

おまめさんかなあプロジェクト きっかけ・・・

勢和小学校・・・地域を愛し、生きる力をもった子どもを育てたい

勢和図書館・・・「食と農」を通じ五感を育み
“生きる力”につなげたい

協議会・・・・・・・・子どもたちに農業の大切さや、
ふるさとの水と土の大切さを伝えたい
遊休農地を解消し活用したい

おまめさんかなあプロジェクト
目的・・・

子どもたちに
生きる力を身につけてもらいたい

「生きる力」



女性や母親の視点！

- ・ 子育てをしながら日々思っていること、
感じていることが形になり、たくさんの方から共感を得ることができた。
- ・ 女性や母親だから気づいたことは多い。

平成25年度の図書館活動
大豆の種まき



農村料理レストラン まめ
や





多面的機能支払交付金制度「農」の取り組みに「食」を取り入れる。
この視点に気づいた！
そして活動の幅は考えられないほどの広がりをみせた。



「この活動に参加させてもらって私が子どもたちからたくさん教えてもらっとるよ。
子どもたちのあの笑顔はなにものにもかえられやん。
私は勢和がますます好きになったわ」

「公共図書館・学校図書館との連携」



農業体験だけでなく、**生きる力**を身につけるという、この活動の本来の意味が見えてきます。

本からの学び⇔作業や体験



知恵
「生きた学力」



～勢和小学校 図書室



「子どもがつくる旬の料理」坂本廣子 クレヨンハウス
「愛づるの話。」中村桂子 新曜社
「食の位置づけ」辰巳芳子 東京書籍

坂本廣子さん（料理研究家：サカモトキッチンスタジオ主宰）

「料理は“五感”」

中村桂子さん（科学者：JT生命誌研究館館長）

「“生きもの”として」

辰巳芳子さん（料理家：「良い食材を伝える会」・「大豆100粒運動」会長）

「“いのち”を支える」

〈子どもたち～未来〉から問われている



谷川俊太郎・詩
佼成出版社

ありがとうございました。



たきちょうせいわ
多気町勢和地域資源保全・活用協議会【テーマ：女性の活躍、多様な参画・連携の促進】

項目		説明内容	備考
活動場所		三重県多気町勢和地域	
対象農用地面積		全体 377ha（田 :317ha、畑 :59ha）	
対象施設		水路 81.6km、農道 87.5km、ため池 7箇所	
交付金額		農地維持支払1072万円、資源向上支払（共同）636万円 資源向上支払（長寿命化） 470万円	
活動開始年度		平成19年度～	
組織の構成員		農業者・・・農家戸数788戸 非農業者・・・非農家戸数972戸 協議会構成メンバー・・・区長会、老人会、教育関係（保・小・中）、図書館、語り部会、6次産業施設、交流施設、営農組合、土地改良区、JA、役場など 参加20団体、支援4団体、協力（CSR）4団体	
主な活動内容	農地維持活動	農家、非農家による農地法面の草刈り、水路の泥上げなどの基本的な保全活動	
	資源向上（共同活動）	水土里サポート隊共同活動支援による水路・農道・ため池の軽微な補修、植栽による景観形成、生ゴミの堆肥づくり、生物多様性保全、グランドカバープランツなどの農村環境保全活動	
	資源向上（長寿命化）	水路や農道の破損部分の更新及び補修	